

働く女性Real Vol.4-1
『夫婦のお財布事情～家計の分担編～』
調査レポート

2017.07

リビング暮らしHOW研究所

妻が会社員でも約5割が家計は「夫頼み」 分担派は、夫が固定費、妻が普段の食費

- 家計の管理は「主に自分（妻）がしている」人が約3分の2。家計簿をつけている人は約5割。
- 家計の支出方法は「主に夫の給与から」が最も多く、妻が働いていない人では96.6%、妻がパート・アルバイトの人では約8割と大多数を占める。

妻が「正社員、契約・嘱託社員、派遣社員」でも5割近くが家計は夫頼み。

妻が「正社員、契約・嘱託社員、派遣社員」の家庭では、夫婦で家計をやりくりしている人も4割強。

- 夫婦でやりくりする方法は、「共用のお財布や口座に入金し、そこから支出」が26.6%、「夫婦で費目別に分担」が17.3%。
- 「夫婦で費目別に分担」している場合、夫が担当している率が高いのは「水道光熱費」78.6%、「家賃（または住宅ローン）」68.9%といった固定費。

妻が担当している率が高いのは「普段の食費」53.4%、「子どもの被服費」38.8%で、これらは妻の裁量で買い物をすることが多く、効率がいいことも一因か。

削減したい「水道光熱費」「通信費」「普段の食費」 増やしたい「レジャー費」「子どもの塾・習い事」

- 夫の毎月のお小遣いは、「1万円～3万円未満」30.1%、「3万円～5万円未満」26.2%がボリュームゾーン。

- 妻の毎月のお小遣いは、働き方で大きく違うが、「1万円～3万円未満」が最多。

専業主婦は「3000円未満」という人も24.4%いて、お小遣いの額は他より少なめ。

妻が正社員などの人は、「3万円～5万円未満」の人が24.1%で、自由になるお金は多め。

- 家計で削減したい支出の上位3つは「水道光熱費」42.5%、「通信費」39.3%、「普段の食費」33.2%。

- 家計で費用をかけたいものは「ない」が約3割で最多だが、「レジャー費」23.5%、「子どもの塾・習い事」19.7%への関心は高め。

【実施日時】 6月30日（金）～7月9日（日）

リビングWeb・シティリビングWeb・あんふあんWeb・ぎゅってWebでのアンケート

【調査対象】 既婚女性(全国) 有効回答数 /1185

【設問】

Q1.家計の管理は誰がしていますか？

Q2.家計簿をつけていますか？

Q3.家計の支出方法は、次のどれに近いですか？

Q3-a.夫婦で費目別に分担している人にお聞きます。次の費目について、誰が分担しているか教えてください。

水道光熱費 通信費 普段の食費 外食費 子どもの被服費 レジャー費 教育費（学校・保育園・幼稚園関連） 子どもの塾・習い事 夫婦の保険料 子どもの保険料
家賃（または住宅ローン） 車関係

Q4.家計の負担比率は、どれくらいですか？

Q5.教育費や家族旅行資金など、家計のための貯蓄・保険・株式などの資産は、誰が管理していますか？

Q5-a.教育費や家族旅行資金など、家計のための貯蓄・保険・株式などの資産の総額はいくらありますか？

Q5-b.家計のための貯蓄・保険・株式などの資産の使用目的は何ですか？（複数回答）

Q6.夫の毎月のお小遣い（自分で自由に使えるお金）はいくらですか？

Q7.あなたの毎月のお小遣い（自分で自由に使えるお金）はいくらですか？

Q8.あなたの家計で、もっと削減したいと思っている支出の費目をすべて選んでください。

Q9.あなたの家計で、もっと費用をかけたいと思う支出の費目をすべて選んでください。

Q10.子どものいる人にお聞きます。これからの子どもの教育費について、夫婦で話し合いをしたことがありますか？

Q11.子どものいる人にお聞きます。将来に向けて、子どもの教育費の準備を始めていますか？

Q12.夫婦の老後資金について、夫婦で話し合いをしたことがありますか？

Q13.夫婦の老後資金の準備を始めていますか？

Q14.夫婦で、家計について話し合う頻度を教えてください。

Q15.将来を考えて、今の家計に不安はありますか？ その理由も教えてください。

Q16.夫に対して、金銭感覚のギャップを感じることがありますか？ 金銭感覚のギャップを感じることが「よくある」「時々ある」人、どんなことにギャップを感じますか？ 具体的に教えてください。

Q17.家計のことで意見が合わなくなったことがありますか？

Q18.あなたは夫の収入を把握していますか？

Q19.夫はあなたの収入を把握していますか？

Q20.あなたは夫の「家計に関する支出」を把握していますか？

Q21.夫はあなたの「家計に関する支出」を把握していますか？

Q22.あなたは夫のお小遣い（自分で自由に使えるお金）の支出を把握していますか？

Q23.夫はあなたのお小遣い（自分で自由に使えるお金）の支出を把握していますか？

Q24.あなたは夫のお小遣い（自分で自由に使えるお金）の貯蓄・保険・株式などの資産を把握していますか？

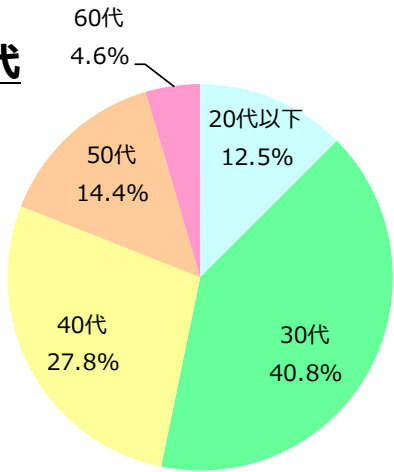
Q25.夫はあなたのお小遣い（自分で自由に使えるお金）の貯蓄・保険・株式などの資産を把握していますか？

Q26.今年、あなたの家庭で一番大きな支出をしたものは何ですか？ 金額と、内容を具体的に教えてください。

Q27.夫の年収（所得税・社会保険料なども含めた所得総額）を教えてください。

Q28.あなた自身の年収（所得税・社会保険料なども含めた所得総額）を教えてください。

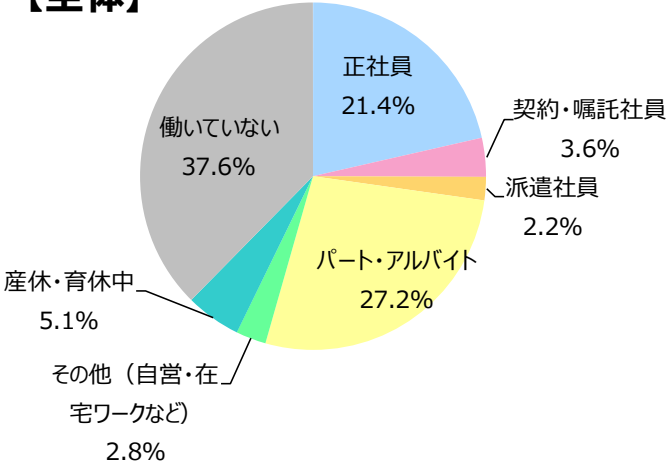
年代



平均年齢 41.2歳

妻（自分の働き方

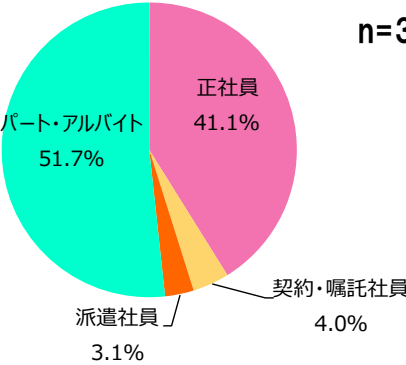
【全体】



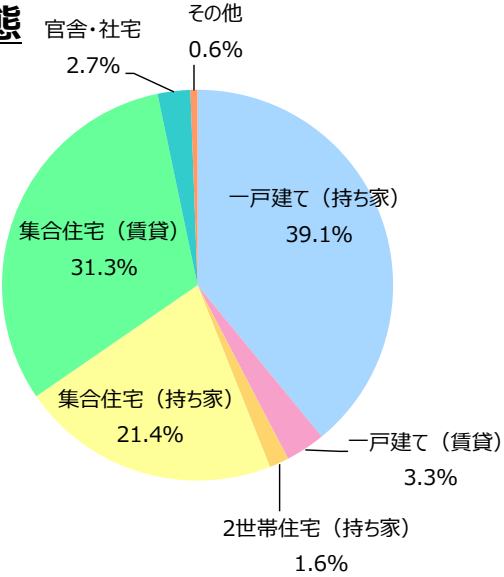
【40代以下の働くママ】

※パート・アルバイト含む

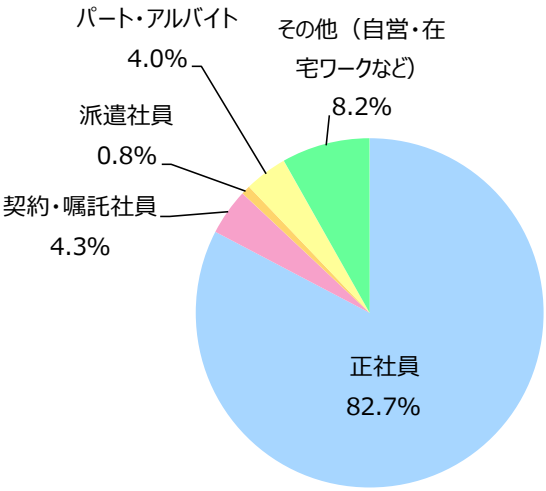
n=350



住居形態

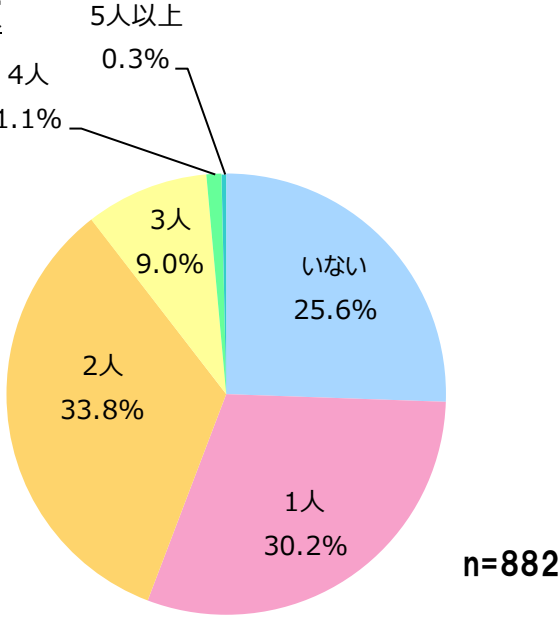


夫の働き方



子どもの人数

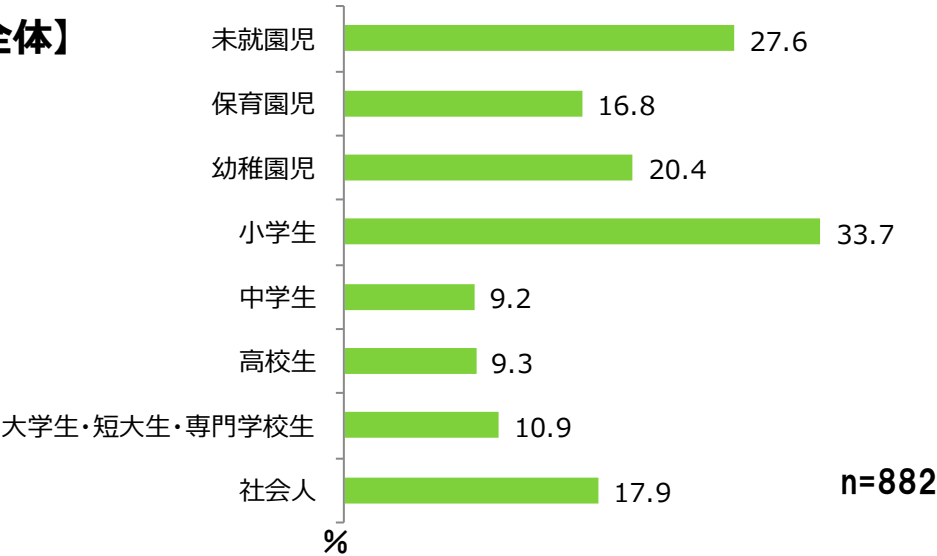
【全体】



子どもの学齢

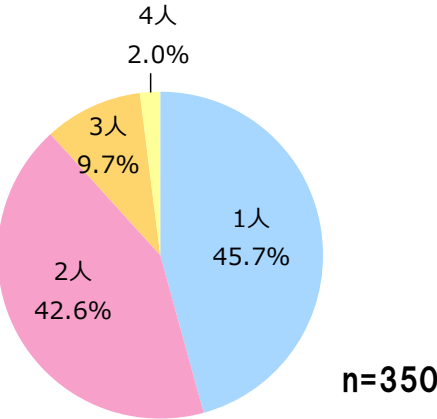
複数回答

【全体】



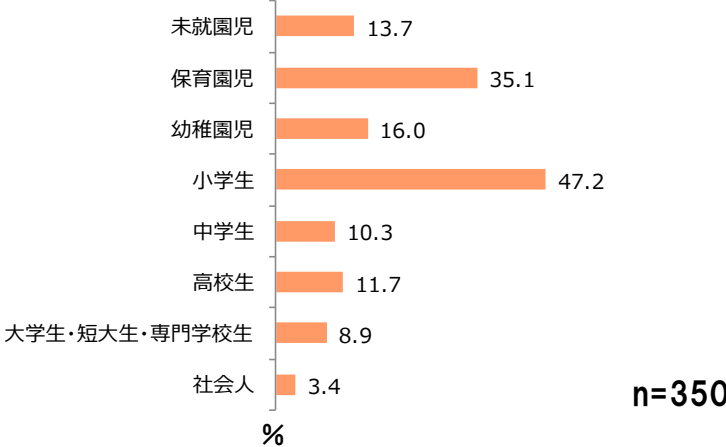
【40代以下の働くママ】

※パート・アルバイト含む



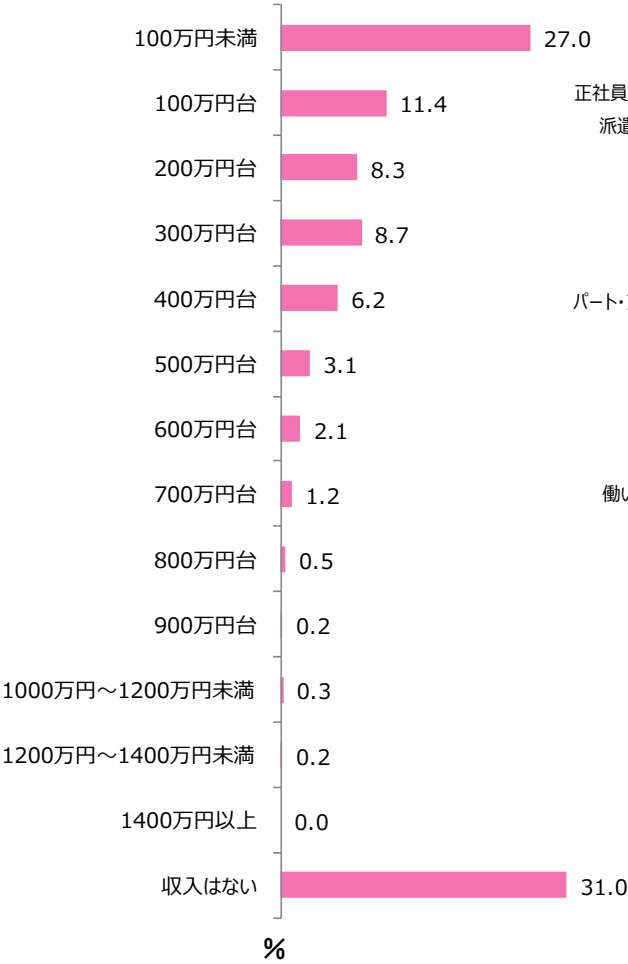
【40代以下の働くママ】

※パート・アルバイト含む

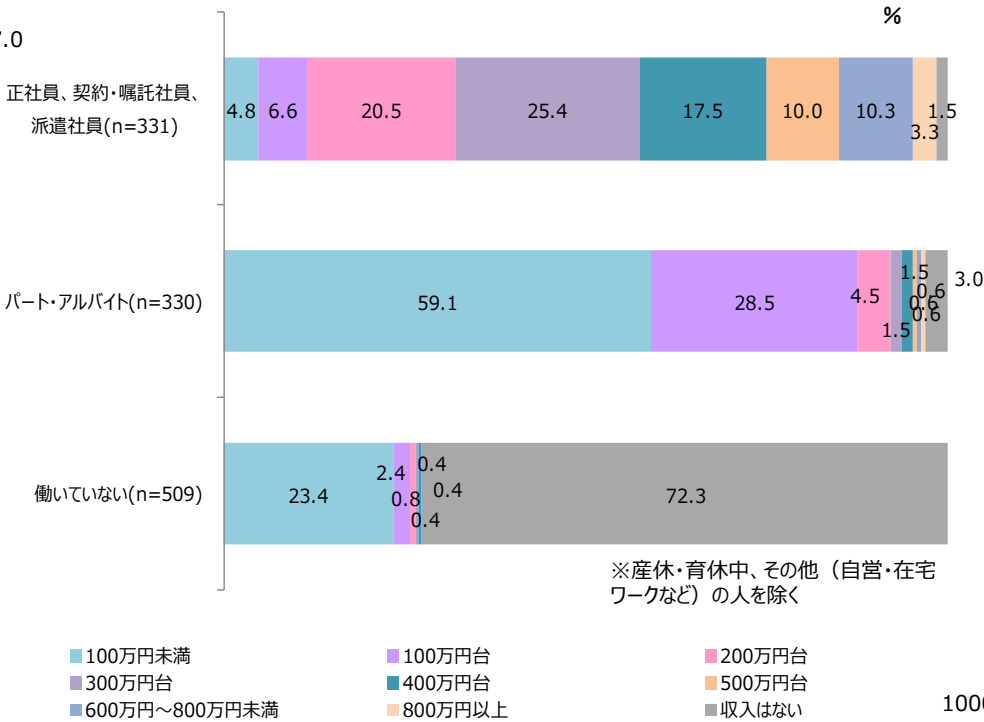


妻（自分）の年収

【全体】

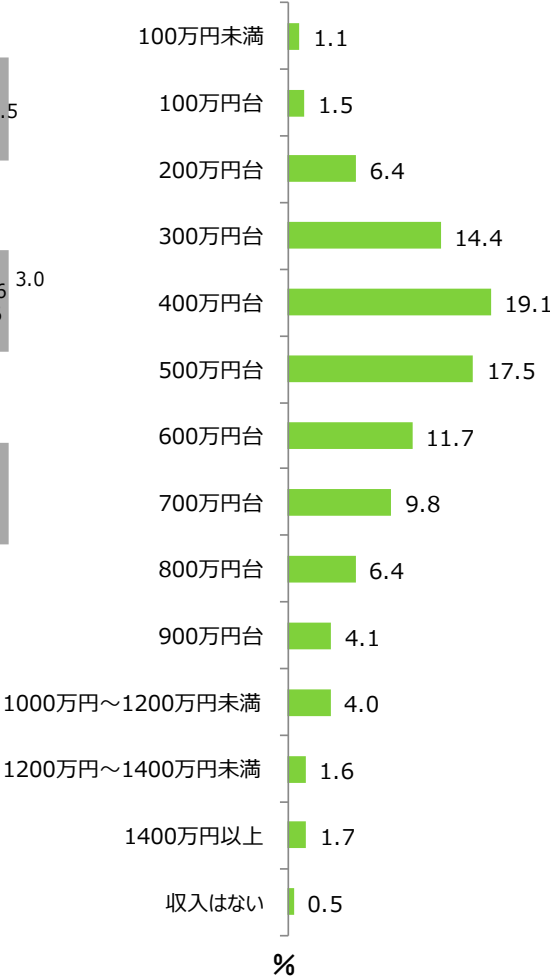


【妻の働き方別】



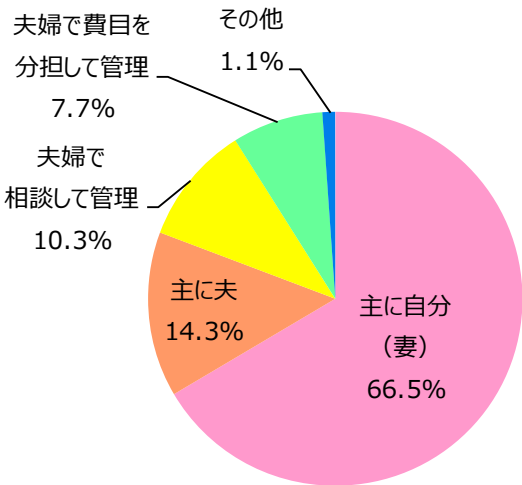
夫の年収

【全体】



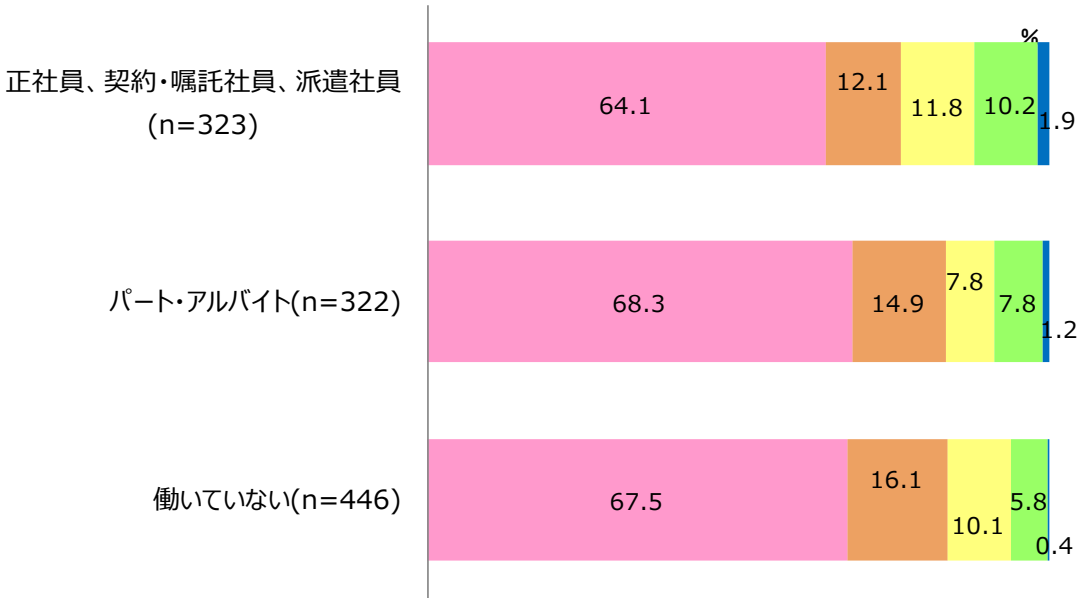
家計の管理は誰がしているか？

【全体】



家計の管理を「主に自分（妻）」がしている人が約3分の2。
共働きかどうかでは、違いはほぼ見られない。
家計簿をつけている人は約5割。
妻が「正社員、契約・嘱託社員、派遣社員」の人は、家計簿をつけている人がやや少なめ。

【妻の働き方別】

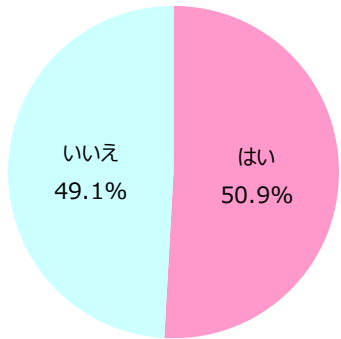


■ 主に自分（妻） ■ 主に夫 ■ 夫婦で相談して管理 ■ 夫婦で費目を分担して管理 ■ その他

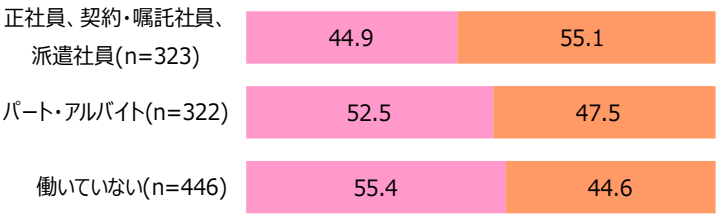
※産休・育休中、その他（自営・在宅ワークなど）の人を除く

家計簿をつけているか？

【全体】



【妻の働き方別】

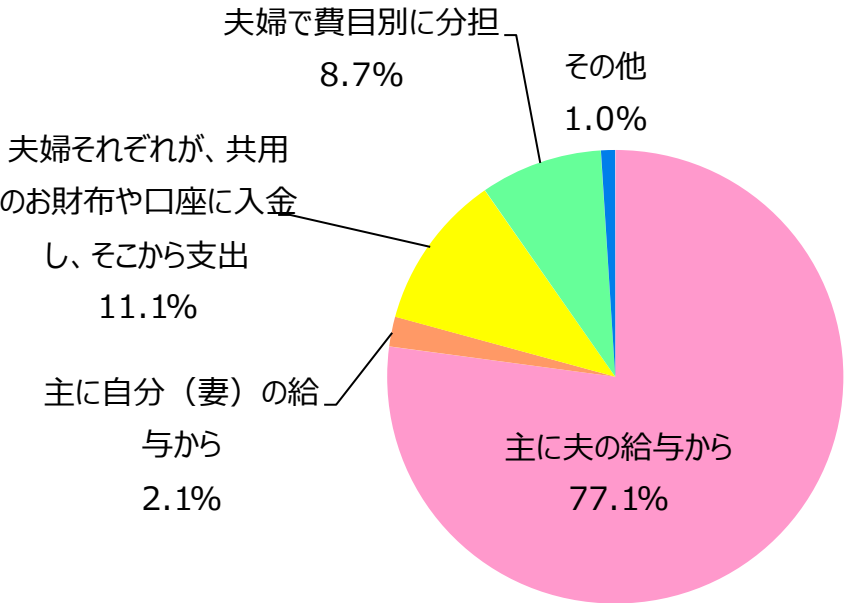


■ はい ■ いいえ

※産休・育休中、その他（自営・在宅ワークなど）の人を除く

家計の支出方法は、次のどれに近いですか？

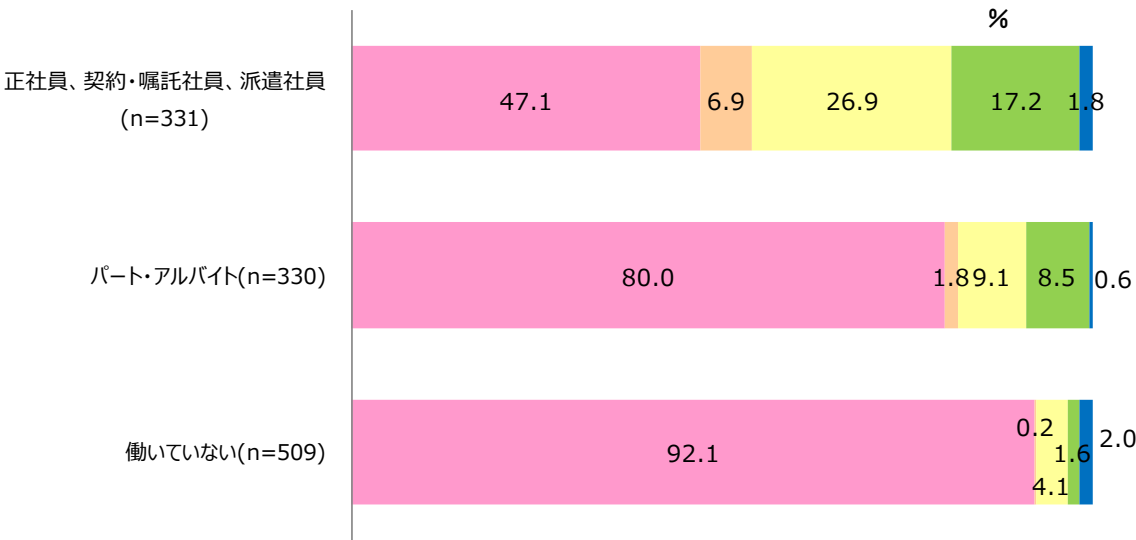
【全体】



家計の支出方法は、「主に夫の給与から」が最も多く77.1%。妻が専業主婦の場合はほぼ全員、「パート・アルバイト」の人は約8割と大多数。妻が会社員でも、5割近くが家計は夫頼み。

妻が正社員等の方は、夫婦で家計をやりくりしている人も4割強いて、その内訳は「共用のお財布や口座に入金し、そこから支出」が26.6%、「夫婦で費目別に分担」が17.3%。

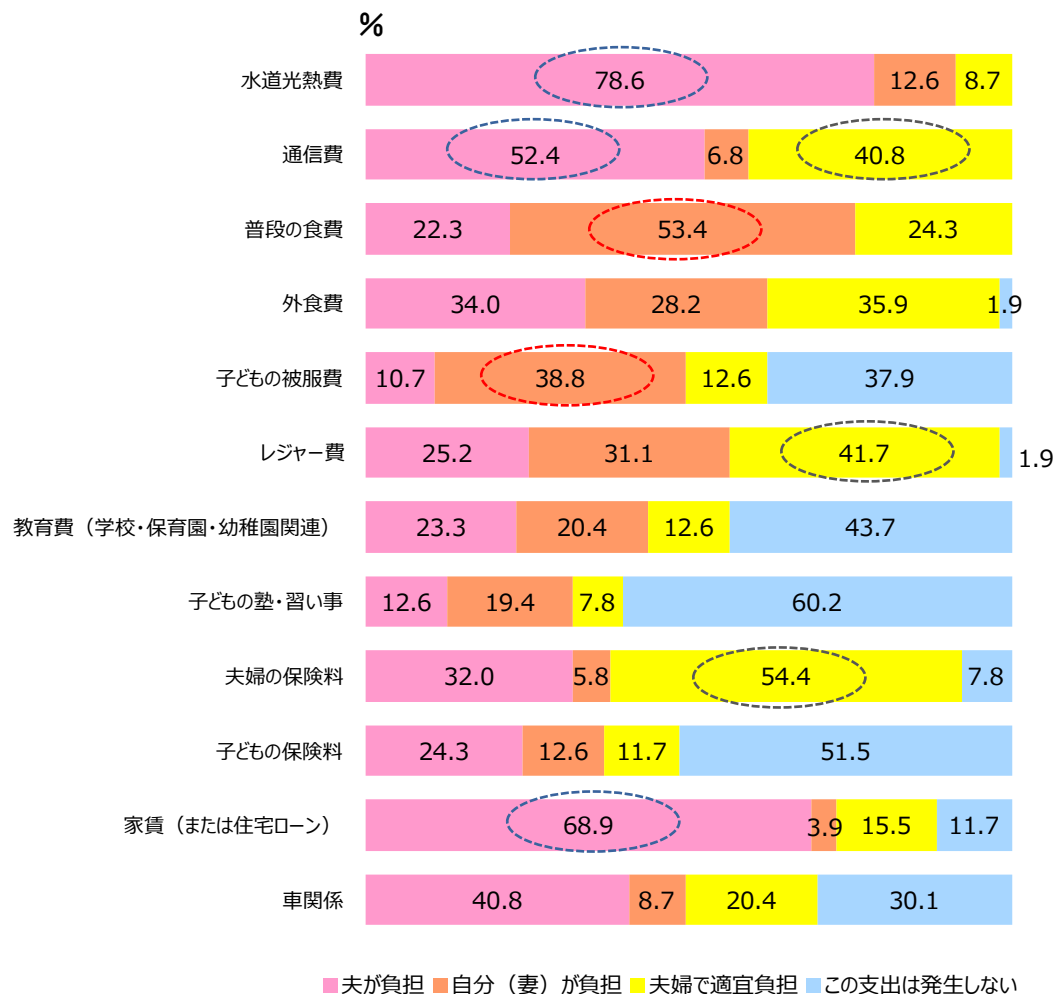
【妻の働き方別】



- 主に夫の給与から
- 主に自分（妻）の給与から
- 夫婦それぞれが、共用のお財布や口座に入金し、そこから支出
- 夫婦で費目別に分担
- その他

※産休・育休中、その他（自営・在宅ワークなど）の人を除く

家計を夫婦で費目別に担当していると回答した人は、 誰がどの費目を担当しているか



n=103

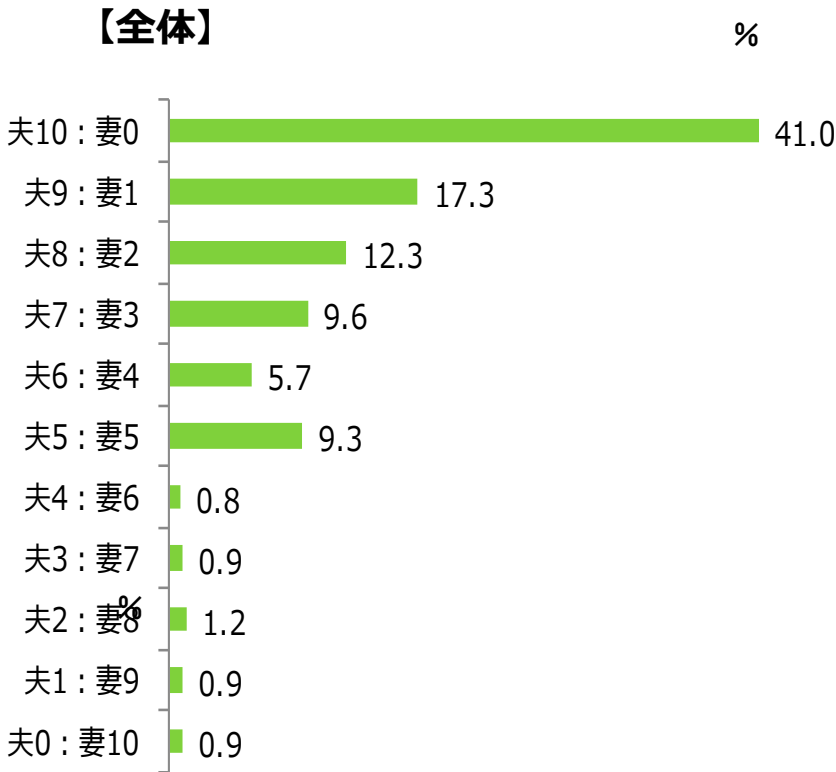
家計を「夫婦で費目別に分担」している人に、費目別の担当を聞いたところ、夫が担当している率が高いのが「水道光熱費」78.6%、「家賃（または住宅ローン）」68.9%といった固定費。

妻が担当している率が高いのは「普段の食費」53.4%、「子どもの被服費」38.8%で、これらは妻の裁量で買い物をする事が多く、効率がいいことも一因か。

「夫婦で適宜負担」している率が高いのは、「夫婦の保険料」54.4%や「通信費」40.8%。保険や携帯電話は契約者が本人であることが多いためであろう。

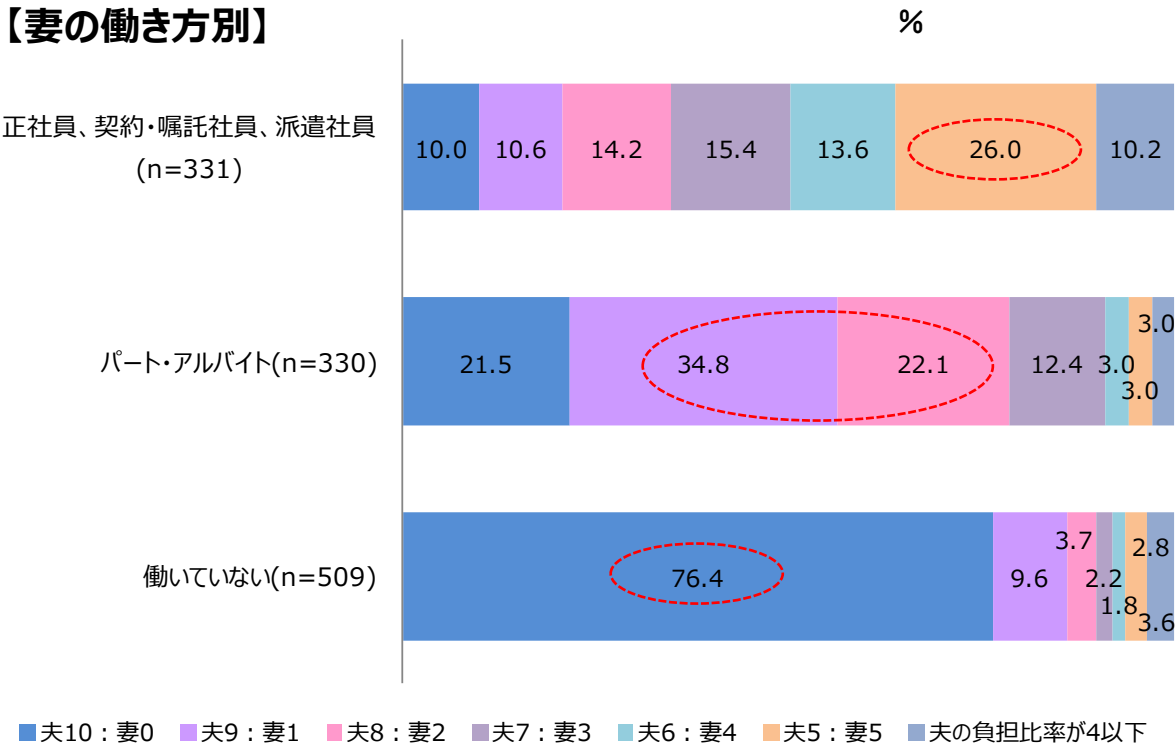
また、「レジャー費」41.7%や「外食費」35.9%も、夫婦で適宜負担している率が高め。

家計の負担比率は、どれくらいですか？



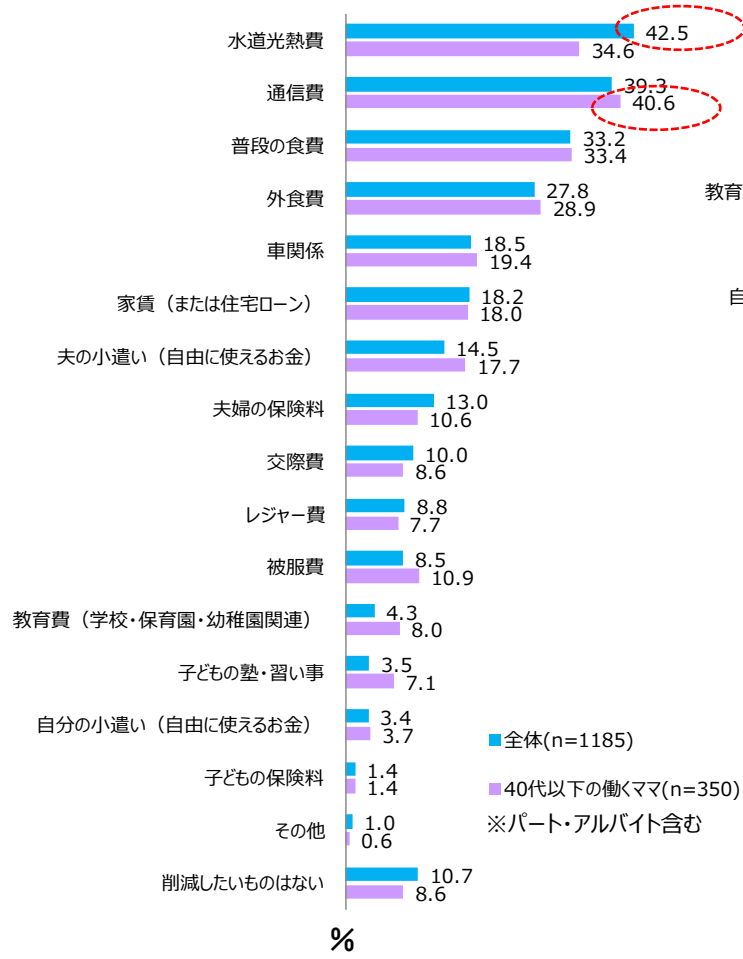
家計の負担比率は、妻の働き方で大きく異なる。
妻が働いていない家計では、約8割が全部を「夫が負担」。
妻がパート・アルバイトの場合は、妻が1～2割負担している人が約半数。でも、夫が全部負担している人も2割強いる。
妻が「正社員、契約・嘱託社員、派遣社員」の人は、夫婦で5分5部負担している人が26.0%と最多。とはいえ、夫の負担比率が高い人が多く、共働きでも家計は夫が主力。

【妻の働き方別】

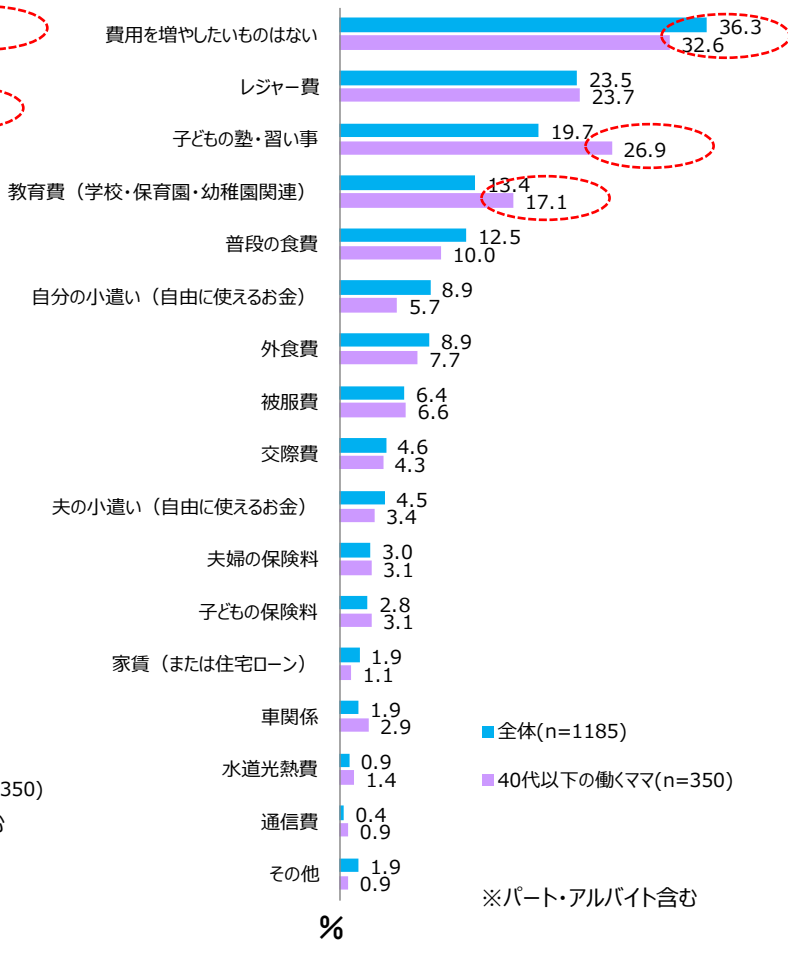


※産休・育休中、その他（自営・在宅ワークなど）の人を除く

家計で、削減したい支出 複数回答



家計で、費用をかけたい支出 複数回答



家計で削減したい支出は、全体では「水道光熱費」42.5%がトップ。
40代以下の働くママでは「通信費」40.6%が最も多い（全体では39.3%）。

家計で費用をかけたいものは「ない」が約3割と最も多いが、「レジャー費」や「子どもの塾・習い事」への関心は高め。
特に、40代以下の働くママは「子どもの塾・習い事」26.9%、「教育費（学校・保育園・幼稚園関連）」17.1%と、子どもの教育への関心が高い。